

課題のねらい (目標) 道徳学習は、どうしても建て前主義的なものに陥りやすい。又、副読本を使った授業は、国語科の読み取りみたいになりやすい。先が見えてしまい、子どもたちの意欲も喚起できない。そこで、価値観が2つに分かれている新聞記事等を扱い、自分ならどっちの立場に立つかの意見を交換しあいながら、価値の追求を行っていきたい。

単元名 「4年道徳：3 - 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする」  
 学習内容 a . 授業時限：1時間

時	主たる発問・指示	指導のポイント
5分	発問1 . これ、何の宣伝文句だと思いますか。(「香りはやさしいグリーンフローラル」等々)	シャンプーという具体的モノを提示することで、子どもたちの意欲は喚起される。しかし、いきなり示しても面白くないので、このようにして提示する。この原実践は深沢久氏が行われているが、ここでは新聞記事を提示して、さらに価値観を深く追求できるようにしていった。
10分	発問2 . (シャンプーの注意欄を示して) さて、このシャンプーは結局、目に入っても大丈夫なのですか、そうではないのですか。 発問3 . では、どうやって「目に入っても大丈夫」とわかるのですか。予想されることをノートに書きなさい。	
20分	指示1 . では、今から配る動物実験に関する文章を読んで下さい。 発問4 . 皆はこの文を読んで、動物実験に賛成ですか、反対ですか。(個人意見を聞いた後、ディベートに入る)	
10分	発問5 . (もう1枚の医者からの反論記事を提示して) この2つの文章を読んで自分は結局、動物実験に賛成ですか、反対ですか	新聞記事をそのまま提示すると、小学生には難しいので、右のように主旨を変えない程度に改作して提示してみた。 実際の授業では、38名中35名が「動物実験には反対」の意志表明をしたので、こんな時はディベートをするようにしている。便宜的に分けることで、自分の意志とは関わらずに善し悪しを考えなければならなくなる。そうすることで2つの価値について、十分考えることが可能となる。 最後に医師の反論記事を読ませることで、価値の再追求を促したい。そして結局、自分はど

	又、その理由は何ですか	の立場に立つかをまとめさせたい。
--	-------------	------------------

## 評価

身近なモノに興味・関心を持つことができたか。

友達と意見の交換や発表、ディベートができたか。

新聞記事（改作）を理解することができたか。

動物実験に対して、自分の意見を持つことができたか。

授業の感想やまとめを書くことができたか。

家庭で、ファミリーフォーカスを行うことができたか。

関連する他の分野・単元名：

道徳（4年）3 - 自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動植物を大切にする。

---

### < 新聞記事に添付するコメント >

〔1994年5月25日 熊本日日新聞朝刊〕「意見・異見」欄より = 二者択一の価値観に迫れる資料を保存していきたい。

〔1994年5月29日 熊本日日新聞朝刊〕「意見・異見」欄より = 難しい記事は、易しく改作していきたい。